

開倫塾 2025/8 NEWS

●公立高校入試併願制に向けて、定期試験・全教科100点満点と課題提出で内申書アップを！

塾長 林 明夫

●夏期講習

高根沢校校長 谷田貝友紀

●お盆特訓

大田原校校長 鈴木一昭

●塾生のひろば

大田原校

●私の勉強方法 No. 200

さくら市立氏家中学校(さくら校) 3年 Y・S

●私の勧める勉強方法 定期テストの勉強方法

黒磯校校長 鈴木佳孝

定期テストの勉強方法

黒磯校校長
鈴木 佳 孝

1. 目標を決め、計画を立てる

まず、目標を決めます。例えば、数学で〇点取る、英語で〇位になる、などです。次に、学習計画を立てます。例えば、〇日に数学のワークの△ページを行うということです。これらは学校でも行っているかもしれませんが、そのときは、新たに目標を決めたり、計画を立てたりする必要はありません。しかし、学校で立てた計画では間に合わないということもあるでしょう。特に定期テストの反省で多いのが、テスト範囲の勉強が終わらなかったというものです。ですから、学校でテスト範囲が出る前から計画を立て、テストの勉強を始めておく必要があります。



開倫塾 黒磯校



2. 3回以上くり返す

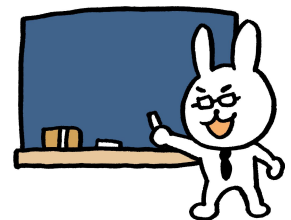
1回で覚えられるものもありますが、大半のものは次の日には忘れてしまうと思います。それが普通です。脳が必要のないものと判断すると忘れてしまうのです。覚えるためには、繰り返し行い、脳に必要なものと思わせればよいのです。そのために、学校のワークは、最低3回は繰り返しましょう。1回目はどうしても時間がかかります。ですから、テスト範囲になると予想されるころまでは、テスト2週間前までに1回目を終わらせておくのが理想です。



3. 立てた計画を実行する

学校のワークを3回繰り返すことを考えて計画を立てることが必要です。特に苦手教科は時間がかかり、後回しにしがちだと思います。テストは合計点で順位が出ますので、苦手教科も得意教科もきちんと計画に入れておきましょう。

計画を立てたら、そのとおりに実行しましょう。ここが一番難しいと思います。家ではやる気が起きない、集中できないときは、ぜひ、塾の自習室に来て勉強してください。一緒に勉強する仲間がいます。わからないところは先生に質問して解決することができます。あきらめずに頑張りましょう。



If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢をみる事ができれば、あなたはそれを実現することができる)

開倫塾ホームページアドレス ● <http://www.kairin.co.jp>

第439号



公立高校入試併願制に向けて、定期試験・全教科100点満点と課題提出で内申書アップを！

入試当日まで『第一志望校合格』を目指し受験勉強を！

Q 「公立高校入試の併願制が始まるよ
うですね。」

A (林明夫。以下省略)

(1)「公立高校入試併願制」は文科省により本格的に検討されていますが、いつからどのように導入するかは、各都道府県教育委員会の裁量にゆだねられています。ですから、いつ始まるかは都道府県により異なりますが、数年後の導入は、ほぼ確実とされています。

(2)従来、公立高校は、1回の入試で、1つの高校しか受験できませんでしたが、この「公立高校入試の併願制」では、1回の入試で、第一志望校に合格しない場合には、その入試の結果が、第二志望校、第三志望校でも用いられるようになるというものです。

(3)今までは、公立高校の倍率が発表されると、「志望校変更」をする受験生がたくさんいました。「公立高校入試併願制」が始まると、第一志望校に合格できなくても、アルゴリズム、自動集計で、第二志望校、第三志望校の合格が決まります。そのため、「志望校変更」をせず、「第一志望校合格」を目指し、一心不乱に、入試当日まで受験勉強に没頭できます。また、公立高校不合格の場合に備えた、「私立高校」の受験が減ると思われます。

(4)ただし、「公立高校入試併願制」が始まって、「入試当日の学力試験」のほか、「内申書」は今まで通り重視され、「点数化」され「加算」されます。「普段の授業の学習態度」や「定期試験で全教科100点満点」「全教科課題提出(ノートや問題集の提出)」「教科外教育活動」などの成果も、今まで同様に重視され、「点数化」されます。あまり無理することはありませんが、し

っかりと、充実した中学校生活を心掛けてください。

Q 「公立高校入試併願制」がスタートすると、中学1年生から今まで以上に定期試験対策勉強を行う生徒が増え、「学力試験では、入試当日まで一心不乱に受験勉強する受験生が増える」とお考えですか。

A その通りです。

(1)今までは、入学試験を受けるかなり前から、あの高校は偏差値が高いので、今の成績では合格しない。だから、安全圏の1ランク下の高校を受験し、どこかの高校にも行けないという事態を避ける受験生が山ほどいました。その結果、今の実力で十分合格できる「安全圏」の高校を受験するため、受験勉強に身が入らない受験生が、数多く見られました。

(2)しかし、「公立高校入試併願制」がスタートすると、中学生の様相は一変します。「第一志望校合格」を最後の最後まであきらめなくても済むのが、「公立高校入試併願制」です。中学1年生から「定期試験で全教科100点満点」を取り、内申書アップを目指す中学生が増えます。各教科の宿題や課題、問題集や授業ノートの提出も、まじめに行う生徒が増えます。あまり無理のない範囲で、教科外教育活動に積極的に参加する生徒も増えると考えます。

(3)第一志望校に不合格でも、第二、第三志望校の公立高校に進学できるので、受験倍率をみておけば、「志望校変更」する受験生は激減。「第一志望校合格」を目指す、最後の最後、入試当日まで頑張る。一心不乱に勉強に集中できますので、熱心な受験生ほど、入試直前であっても、学力

は上昇し続けます。

Q 「公立高校入試併願制」を前にして、大切なことは何ですか。

A (1)「自分の未来は自分で切り開く」。

「自分の未来を自分で切り開く」の最もふさわしい高校を「自分の力で考える」。そして、その高校を「第一志望校」とすることです。

政府は、「高校無償化」を政策として打ち出しましたので、「私立高校」も含め、「第一志望校」選択の幅が大きく広がり、「多様」になりました。

(2)現在10歳の方の半数が、105歳まで生きながらえるといわれています。そうであるならば、現在15歳の中学3年生の方は、これから90年間のどのような人生を歩みたいのか。どのような仕事、社会的活動、日常生活をし、自分として、よく生きることを目指したいのか。ゆつくり考える。

(3)「高校卒業生の約6割以上が4年制大学に進学、約3割が短期大学・専門学校・専修学校に進学」なっています。また、「大学無償化」や「大学生などへの奨学金の充実」の議論も、政府や国会で本格化していることも参考に、「高校卒業後」のことも視野に入れ、「第一志望校」をどこにするかを、自分の力で考える。

Q 「自分の力で考える」といっても、何をどう考えればよいのでしょうか。それを、最後に一言どうぞ。

A (1)その通りですね。ヒントは、これからの世の中はどのようなものか、そこで求められる能力は何かです。

開倫塾教育目標
高い学力
高い理解
高い国際
自己学習能力の育成

②第二に、「グローバル化社会」です。そこでは「多様な集団で活動する能力」が求められます。

③第三は、「課題山積社会」です。求められるのは「自律的に行動する能力」です。

(2)では、どのようにしたらこのような能力が身に着くか。

①自分のものになっていく「ことばの数」「語彙数」を、計画的に増やすことです。意味のわからない「ことば」があったら、気持ちが悪く考え、「辞書」でその都度調べ、ことばの数を計画的に増やす。「辞書」は、武士の刀と同じです。

②新聞を、毎日30分以上読み、世の中のことを知る。日本や世界、地域で何が起きているかを知り、自分の力で考える。批判的思考能力を鍛えて考えるのに、新聞は役立ちます。

③読書を、毎日30分以上行う。休みの日には、一日中、これぞという本を、最後まで、何回か読み、「著者との時空を超えた対話に挑戦」。読書により「思慮深さ」「省察力」を身に着ける。

④「学校図書館」に毎日行き、「公共図書館」に毎週行き、「図書館を自分の居場所(サードスペース、ホッとできる場所)」の一つにする。

(3)①スマホや、AIはあくまでも参考になる「情報ツール」として活用する。

②「学校や開倫塾での授業や学習」に加え、「辞書・新聞・読書・図書館」に慣れ親しみ、読解力を身に着けながら「深く理解」し、「第一志望校」を考える。

③「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できること)」を目指しましょう。

○「第一志望校合格」に向け、最後まであきらめない。では、がんばって！

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授
作 新 学 院 大 学 客 員 教 授)

夏期講習

お盆特訓

高根沢校長
谷田貝 友紀

1. 夏期講習の目的

開倫塾では、7月下旬から8月下旬の間に夏期講習を行います。学年や受講形態、コースにより日程は異なりますが、すべてに共通する夏期講習の目的は、まとまった時間が取れる夏休み期間に、基礎の徹底や苦手分野の克服を図り、9月以降の成績を大幅アップさせることです。以下に、実りある夏期講習にするための三つの大切なことをお話しします。

2. 「自己学習能力」を身に着ける

一番大切なのは、皆さん一人一人が「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」、つまり「自己学習能力」を身に着けることです。まずは、何のために夏期講習を受けるのかを考え、目標を立てることが大切です。そして、その目標を達成したい理由も考えてみましょう。目標は、できるだけ具体的なものにしましょう。そうすることで、自分のなすべきことがはっきりとわかります。自分一人だけ目標を立てるのは難しいときに、開倫塾の先生に相談してください。皆さんの成長につながるよう一緒に考えます。



3. 「効果の上がる学習方法」を身に着ける

夏期講習では、「理解・定着・応用」の「学習の3段階理論」に沿って学習を進めます。講習の授業を受けると、「理解」が足りていないところや、「定着」不足なところなどがみえてきます。それらを身に着けると、「応用」、つまり「定期試験で100点満点を取る」とや「入試や検定試験で合格点を取る」とができるようになります。

特に、「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」の「定着のための3大練習」は毎日取り入れてください。夏休み中にこの練習に慣れておくと、学校が始まった後も学習習慣になると思います。自分に合った学習方法は一生の財産と言えます。やり方に迷ったときは、開倫塾の先生に相談してくださいね。



夏期講習期間も、校舎の開放日、開放時間帯は自学自習ができます。家で長時間自己学習をするのが難しい人もいると思います。校舎の先生に確認して、ぜひ自己学習スペースを活用してください。勉強の時間を確保するには、朝、昼、晩と時間帯を分けたり、自宅や図書館、塾など場所をかえて勉強したりすることをおすすめします。その際は、その時間・その場所ですべて勉強するのかを決めて行動しましょう。夏期講習中はテキストの宿題や、間違えた問題のやり直しをきちんとしてください。必ず力がつきますよ。

4. 「読解力」を身に着ける

入学試験をはじめ、すべての教科の試験は、思考力・表現力を重視するため、近年「長文」・「読解」が求められます。試験時間内に、問題本文や設問を正確に理論的・分析的に読み解くには、「読解力」を身に着けることが求められます。夏期講習中も、辞書・新聞・読書に親しみ、学習習慣にすることで、「読解力」を身に着けましょう。夏期講習は学力大幅アップの大きなチャンスです。一緒に頑張りましょう。

大田原校長
鈴木 一昭

1. お盆特訓とは

中3生の夏休みは、「受験の天王山」とも、「夏を制する者は受験を制す」とも言われます。受験生にとってそれだけ重要な時期だということです。この夏休みをいかに過ごすかで、第一志望校に合格できるかが決まってきます。そこで開倫塾では、夏休みの中でも特に気の緩みがないお盆の時期に、長年、お盆特訓を行っています。1日8時間×5日間、合計40時間をかけ、なおかつ、1日1科目ずつ集中して行います。積極的な姿勢で受講し、苦手単元の克服と長時間学習に耐える集中力を身に着けましょう。

2. お盆特訓を受講すると

受験勉強をどのように進めればよいかわからなかった人も、「お盆特訓を受講することで、どうすればよいかわかった」「1日4時間ぐらいの時間なら、余裕で机に向かうことができるようになった」「上手な時間の使い方ができるようになった」「勉強が楽しくなった」、このような感想をお盆特訓を受講した塾生から毎日出ていただいています。受験生としての自覚が出てくるのもお盆特訓ならではのメリットです。そうならば、「理解・定着・応用」のサイクルを回すだけです。多くの問題を繰り返し行い、一つでも多くの苦手を克服し、その後の学習につなげていくことが大切です。



3. お盆特訓の学習内容

古文・漢文を中心に学習します。仮名遣いや返り点の決まりなどの基礎知識から入試レベルの読解まで、わかりやすく、ていねいに解説します。多くの受験生が苦手とする単元ですが、この集中特訓で得意にしてみせます。

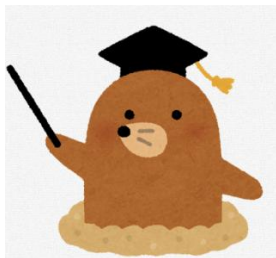
地理は、農産物や地下資源などの生産国や貿易などの資料のまとめを行い、問題練習で「定着」を図ります。歴史は、人物史が中心です。各時代の人物とその人物が行ったことを押さえ、歴史の流れを学習します。

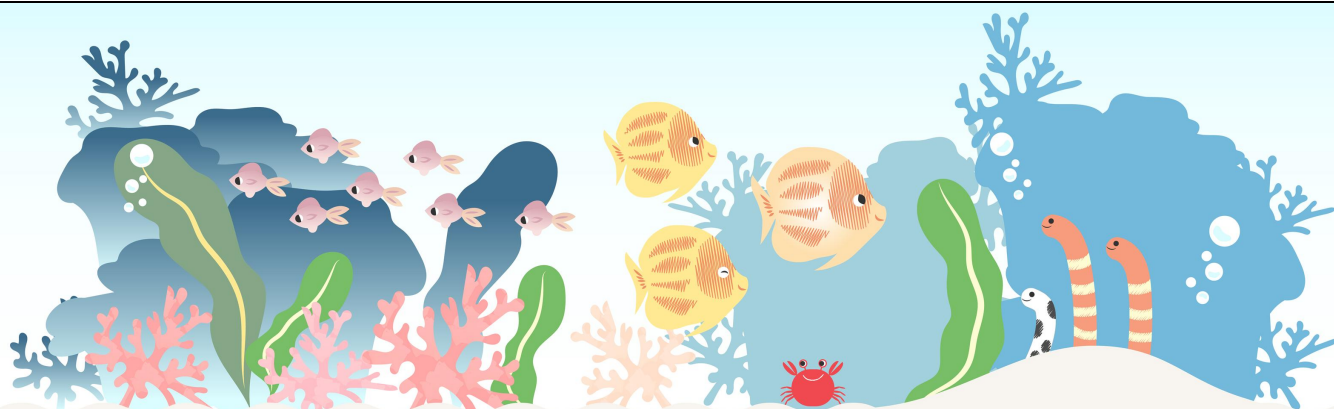
「数学」
一次関数の基礎から応用までを徹底して学習します。多くの人が苦手とする関数が得意になること間違いなしです。入試必出で、9月以降に学習する二次関数にもつながる重要な単元を克服すること、入試の得点アップも期待できます。

「理科」
化学変化・溶解度・密度・圧力・電流など、多くの人が苦手とする単元を学習します。特に、計算問題に関しては式の立て方から計算までの演習を行い、「定着」を図ります。

「英語」
長文読解を中心に学習します。長文読解が苦手という人が多いと思いますので、読解問題を解くための基礎から応用までを行います。解くためのテクニックだけでなく、単語・熟語から文法まで「定着」できてこそその長文読解なのです。

このお盆特訓をきっかけに、第一志望校合格に向けて頑張ってください。講師一同、サポートしていきま





私の勉強方法

塾生のひろば

大田原校

◆どんなに忙しくても、英語と数学は毎日勉強しています。1日に1問でも2問でも毎日欠かさず続けることで、必ず自分の力と自信になっていきます。

高1 S・A

◆私は、授業の前に学習する内容を読んでおきます。理解ができなかった部分には印をつけて、授業のときに確認できるようにしています。

高1 W・S

◆その日の授業でやった内容を復習し、間違えた問題は何度も解き直しをします。また、1日に複数の教科を学習することで、あきずに勉強を続けるようにしています。

高1 U・M

◆ワークの間違えた問題に印をつけ、2周目以降はその問題だけに取り組んでいます。また、明確な目標を立てて勉強するように心掛けています。

高2 K・K

◆私は、何かを覚える勉強のときには、単語帳を見る時間よりも問題を解く時間を多くとっています。特に英単語は、公式のアプリを使って繰り返し一問一答をやっています。

高3 S・S

◆私は、朝の時間と通学中の時間を大切にしています。朝の1時間は数学の予習と復習に使い、電車での通学中は英単語帳や古文単語帳を見て、毎日少しずつ勉強しています。

高3 H・F

◆私の勉強方法は、苦手な単元や問題は他の所よりもメモやノートを多く取ることです。答えとの違いを書いて、どこで間違えたのかをイラストなどでわかりやすくしています。

中1 Y・A

◆私の勉強方法は、授業で間違えた問題はその日のうちに解き直して、少し忘れたころにもう一度やることです。繰り返し勉強することで、苦手なところを減らせます。

中1 K・M

◆ワークをひたすら何周も解き直すことを心掛けています。特に、社会と理科を中心に繰り返し解いています。目標を決めて、それをこえられるように頑張っています。

中2 U・R

◆私は、学校や塾で新しい所を学習した時に解けなかった問題は、同じような問題を何度も解いてできるようにしています。

中2 I・M

◆私の勉強方法は、自分が理解できていない所を把握し、それを中心に勉強することです。また、毎日学習する習慣を身につけて、コツコツ積み上げていくことです。

中2 I・S

◆まずワークをノートに解き、2回目もノートに解きます。それでも間違えたところがあったら、なぜ間違えたのかを確認しています。

中3 Y・A

◆私は、学校からの課題や、塾からの宿題を何度か復習します。また、学校の授業でやったものを授業内容を思い出して、ノートにまとめます。

中3 S・S

◆私の勉強方法は、テスト期間に入る前にワークの1周目を終わらせて、その後も繰り返し周回して、問題を見たらすぐに答えがわかる状態にすることです。

中3 F・K

◆私は、ワークやプリントを繰り返し解いて勉強しています。繰り返し解くことで、英単語や重要語句を覚えることができます。

中3 S・M

大田原校では、塾生の皆さんとの「対話」を大切に、一人ひとりの「自己学習能力」を育てていきたいと考えています。皆さんの問題点は、私たち講師がしっかりサポートしていきます。

大田原校 麓 貴行

8月日程表			
1	金	夏期講習 中3予備 中1⑤	③
2	土	夏期講習 中3⑨ 中2⑤ 栃木放送開倫塾の時間	④
3	日		
4	月	夏期講習 中3⑩ 中1⑥	①
5	火	夏期講習 中3⑪ 中2⑥	②
6	水	夏期講習 中3⑫ 中1⑦	③
7	木		④
8	金	夏期講習 中3予備 中2⑦	
9	土	開倫模試 中3(北関東) 夏期講習 中1・中2予備 栃木放送開倫塾の時間	①
10	日	開倫模試 中1・中2(北関東)	②
11	月	山の日	③
12	火	お盆特訓①	④
13	水	お盆特訓②	⑤
14	木	お盆特訓③	
15	金	お盆特訓④	①
16	土	お盆特訓⑤ 栃木放送開倫塾の時間	②
17	日		
18	月	8月分授業①	③
19	火	8月分授業②	④
20	水	8月分授業③	①
21	木		②
22	金	8月分授業④	③
23	土	中3業者模試対策(北関東) 栃木放送開倫塾の時間	④
24	日	下野模試(中3)②(中2)① 群馬県統一テスト(中3)④ 茨城統一テスト(中1～中3)③	
25	月	8月分授業⑤	①
26	火	8月分授業⑥	②
27	水	8月分授業⑦	③
28	木		④
29	金		
30	土	2学期授業スタート(東京) 中3入試対策ゼミ①(東京) 栃木放送開倫塾の時間	
31	日	北辰テスト(中3)④	都立Vもぎ

※ 6月30日現在の予定です。

学力の向上を目指して…

私の勉強方法 No. 200

さくら市立氏家中学校(さくら校) 3年

Y・S

私は、勉強をするうえで大切にしていることが3つあります。

1. マーカーで線を引く

1つ目は、教科書の大切だと思ったところや、ワークの大切だと思うところに、マーカーで線を引くことです。授業中にマーカーを引くことで、その時に先生が話していたことなどが強調されるので勉強がしやすいです。



2. オレンジ色のペンで書く

2つ目は、ノートをもとめるときに、大切なところをオレンジ色のボールペンで書くことです。オレンジ色のボールペンで書くと赤シートでその文字を隠すことができるので、暗記などの勉強がしやすくなります。例えば、英単語のスペルと意味をそれぞれ覚えたり、理科や社会の暗記をしたりするときはこの方法をよく使っています。

3. 辞書を引く

3つ目は、分からない言葉や英単語があったら、辞書を引くようにしています。なぜなら、意味を調べるときにスマートフォンを使うと集中力が切れてしまうからです。そのため、自分で辞書を引くようにしています。



これらの3つの勉強方法を行うことで、以前よりも、大切な単語を効率よく覚えられるようになりました。テスト勉強には、これらに加えて学校のワークを3回繰り返すことを行っています。

1回と2回はノートに答えを書いて採点します。そして、3回目にワークに書き込んで採点すると、ほぼ満点になります。この方法は、定期テストの勉強だけでなく、受験勉強にもたくさん活かしていきたいです。



「開倫塾ニュース」2025年8月1日号

編集者＝開倫塾教務部

発行所＝開倫塾

(栃木県足利市堀込町145 TEL0284-72-5945)

発行責任者＝林 明夫

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」・ラジオ栃木放送(1530kHz、1062kHz、864kHz <http://www.crt-radio.co.jp/>) 毎週土曜日午前9時15分～25分。塾長林明夫が、塾生だけでなく社会人も含めて一生涯活用できる「効果の上がる勉強方法とは何か」をテーマに、39年間語り続けている世界に1つしかないラジオ番組です。